



「時間を有効に使おう！」

新型コロナウイルスへの感染症防止対策から5月末まで臨時休校となりました。様々な活動が制限され、物足りなさを感じていることと思います。今後の見通しは全く立ちませんが、いまできることに取り組み、日々を大事に過ごしてください。自由な時間の利用方法は人生において大事な能力となります。

大事なことは目標を立て、計画的に過ごすことです。なんとなく過ごしてしまうと、その期間に行ったことがわからなくなります。いつまでになんてなりたいのかというゴールを設定してください。そのゴールに近づいているかを確認するために黒門手帳を活用するとよいと思います。

「共通テストを見据えて」

家庭学習の期間が長くなってます。学習内容の理解はどうでしょうか。今はインターネットでいろいろな動画を検索することができて、高校生の内容もすべて網羅されているかもしれません。こういったものを活用することは大事です。しかし、みなさんが将来抱える問題はだれも答えを知らない問題です。それを解決するための自力（知識だけでなく方法論も）が必要です。学習についても教わるという受け身の姿勢ではなく、自ら学ぶという姿勢で課題に取り組んでください。

高校の内容を理解するという問題を解決する一番の方法はまず教科書を読むことです。教科書にすべて書かれています。また共通テストは文章量が多いので、速やかに内容を読み取れないとそれだけで不利な状況になります。文章を正確によみとるには普段から文章を読むことが大事です。この機会に教科書を熟読し、内容を理解しましょう。当然初めてみる内容なので簡単には理解できません。教科書を5回読むことを勧めます。理解できないときは質問したり、動画検索してください。苦勞した分だけ力はつきます。頑張れ！

令和元年度末人事異動における富高転入職員から富高生へのメッセージ



「高校生活」

教頭 高橋 利之 (万場高校)

令和2年春の人事異動で万場高校から赴任してきました、教頭の高橋利之です。(教科は数学です。)この学校で5校目になります。着任して4週間が経ちましたが全ての生徒の姿を見ることができない状態です。一日も早く全校生徒の皆さんと対面できることを楽しみにしています。

平均寿命80年からすると、高校生活たかだか3年間です。しかしこの3年間は、大人になる、社会人となる過程で、人生を左右する大切な3年間です。皆さんの個性が発揮されて、夢や希望に向け躍動をはじめめる時期です。成功したことも失敗したことも全てが糧になります。自身の可能に挑戦してください。



「人生の岐路」

事務長 浅川 利行 (下仁田高校)

富岡実業高校、下仁田高校に次いで、富岡高校に赴任しました浅川利行と申します。出身地域である、歴史と伝統あるそれぞれの高校で勤務できることに感謝しています。節目である高校3年間でどのように過ごしたかにより、その後の人生が決定していくほど大切な時期です。皆さんが、高校生として充実した時間を過ごせるよう、事務職員として、できる限り応援させていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



「みなさんをお待ちしています」

英語科 山本 強 (藤岡工業高校)

今年度、人事異動で赴任しました英語科の山本強です。昨年度まで藤岡工業高校に勤務していました。2年6組副担任として、担任の杉山先生と協力しながら皆さんの高校生活をサポートします。部活動は硬式野球部の顧問に入ります。よろしくお願いいたします。出身は利根郡みなかみ町です。趣味は筋トレですが、授業に備えて予習もしていますので学校が始まったら一緒に勉強しましょう。



「歴史の証人」としての自覚を持つよう

地歴公民科 落合 李愉 (西邑楽高校)

2020年は、いわゆる「コロナ禍」により、世界各地で異例の状況が生じています。どこかのSF映画が現実化したような気がします。さて、富高生の皆さんには、「歴史の証人」としての自覚を持ってほしいと私は思います。コロナ騒動は、近い将来必ず教科書に載ります。皆さんはその体験者として、実際に感じた苦労などを後世に伝える義務があるのです。教科書は、どこか遠い世界の出来事が書かれた書物ではありません。自分たちがすでに歴史の証人になっていることを自覚すれば、今学んでいることもけして他人事ではなくなるはず。ぜひ、そのような姿勢で学習に臨んでください。



「自主自立」

数学科 荻野 明久 (高崎経済大学附属高校)

この度、高崎経済大学附属高等学校から赴任した数学科の荻野明久です。よろしくお願いいたします。少子高齢化・高度情報化・グローバル化など社会は急速に変化し続けています。その想像できないような早さで変化する社会に対応する力が、今もこれからも求められています。各自が必要な情報を主体的に収集し、問題点を見つけ出し、解決していく。そんな力を皆さんは高校の3年間で身につけ、自立しなければなりません。教科の学習・部活動・学校行事等を通して社会に対応する力を養成していきましょう。応援します。



「自分自身を信じるために」

保健体育科 新井 喜人 (高崎女子高校)

この度、高崎女子高校から赴任した保健体育科の新井喜人です。旧富岡高校は私の母校です。だいぶ改修されましたが、皆さんと同じこの校舎で過ごしました。今年は休校が続く皆さんと授業で会うこともなく寂しい限りですが、こんな時こそ皆さんの力が試されているのかもしれない。今取り組むべきことに十分に向かい合ってください。必ず、あなたの大切な瞬間に自分自身を信じられる力になります。がんばれ、富高生。



「実りある高校生活を」

英語科 小林 育美 (藤岡中央高校)

この春、藤岡中央高校より赴任いたしました。2校の伝統を受け継いだ、この富岡高校で働く機会を得て、大変嬉しく思います。臨時休業のため、生徒の皆さんになかなか会うことができませんが、これから始まる生活に思いを馳せています。高校での3年間は、今後の生き方を決め、精神的にも大きく成長する濃密な時間です。皆さんの力を最大限伸ばすお手伝いのできればと考えています。よろしくお願ひします。



「富高生の皆さんへ」

数学科 武藤 雅明 (吾妻中央高校)

この春の人事異動で吾妻中央高校より赴任しました、数学科の武藤雅明です。私は以前富岡東高校に勤務していたことがあります。その時とは校舎も変わり雰囲気も変わって驚きました。しかし、他の先生方から昔と変わらず素晴らしい生徒だと聞いています。今はまだコロナウイルスの影響もあり、皆さんとはなかなか会うことができませんが、学校が再開した時には、皆さんのより良い学校生活の手助けができるように全力でサポートしていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



「オタクの勧め」

理科 四十万 智博 (高崎女子高校)

世間では「オタク」があまり好まれないこともある。しかし、芸人では志村けんやフナシー、科学の分野ではさかなくん、森田正光、山中教授などはすぐに思ひつくだらう。これで学問・趣味・仕事などどんな分野でも真の面白さを実感したり、実力を発揮するには深い専門知識すなわちオタク力が必要不可欠であることがわかると思ひます。最も身近なオタクは本校の先生方で、オタクであるからこそ様々な知識・技能を伝授し興味・関心のある情報を提供してくれる。高校の勉強は将来、進学や就職をしたとき、学問・趣味・仕事等で真の面白さを知ったり、実力を発揮するために不可欠な基礎になる。不得意な分野もあると思ひますが、少しずつでも知識として身につけてほしい。私は生徒の皆さんにどんな分野でも構わないので「オタク」になることを強く勧めたい。そして、いろいろな分野の面白さを、ぜひいろいろな人に伝えてほしい。



「今を楽しく」

事務 上原 頼子 (高崎高校)

高崎高校から赴任してきました。6年ぶりの共学校です。女の子はやっぱりかわいいなあと、前々任校を思ひ出しているところです。今年は特別な新学期で、大切な高校生活が短くなってしまいましたが、学校が再開されたら、その分取り戻すべく、思ひっきり楽しみましょう。20年後30年後に、仲間たちと、あの頃バカなことしてたよね〜って、大笑いできるような高校生活を送ってください。